

美 建 第 610 号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

岡山県久米郡美咲町長 奥 村 忠 夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、
別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政について改善すべき点

1. 国の進めている「新たな中期計画」について、すでに答えは出ているのではないのでしょうか。

「無駄な道路、緊急性がない道路は作らない」を基本に、地方の生活を支える「真に必要な道路整備」を真剣に取り組んでいただきたい。

特に、自動車社会、高齢化社会で道路は大きな財産であり、福祉面からも地方道路の整備は急務である。

2. 効率的に道路行政を進めていくためには、道路用地の確保は不可欠であり、主要道路の沿線は将来計画を考慮して、現道から一定の距離を取って開発するなど、制限の設定が必要であると考えます。

②地域の現状と抱える課題と目指すべき将来像

1. 地域の活性化並びに地域経済の発展からも、新設整備（高規格道路等バイパス道路）にこだわる事なく、経費、工期を考えて基本的な見直しにより、現道拡幅による整備を積極的に進めるべきである。

③道路施策として重点的に取り組むべき事項

1. 高速道路の整備も必要であるが、国民の平等の観点から、通行料金の要らない利用度の高い主要国道（特に二桁台）の整備は国の責任からも、最優先すべきである。